

「多様な性を生きる人のための防災ガイドブック」
発行記念シンポジウム

多様な性を生きる人の 防災・災害支援を考える —取り組み 想いを明日へ—

東日本大震災時、多様な性を生きる人たちは「見えない存在」でした。災害時に誰もが安心して生きることができる社会にしたい、という思いから作成した「多様な性を生きる人のための防災ガイドブック」の発行を記念し、シンポジウムを行います。

各地での災害時の経験や取り組みを通し、私たちは平時からどのようにつながり、これからの災害に備えていくことができるのかを考えます。

パネリスト

五十嵐ゆり さん (NPO 法人 Rainbow Soup 代表)

及川政伸 さん (ろう LGBT 東北 (DLT) 代表)

浜口ゆかり さん (NPO 法人高知ヘルプデスク 代表)

前川直哉 さん (ふくしま学びのネットワーク理事 / ダイバーシティふくしま共同代表)

10月7日(土) 15:00~17:30

* 手話通訳・要約筆記あり

会場: 仙台市福祉プラザ 1階 プラザホール
(仙台市青葉区五橋 2-12-2)

参加費: 無料

 問合先

E-mail: miyagi-esto@estonet.info

TEL: 080-6049-8843 (非通知不可)

FAX: 050-1450-6768 (非通知不可)

主催: 性と人権ネットワーク ESTO

<http://estonet.info>

パネリストプロフィール

五十嵐ゆり（NPO 法人 Rainbow Soup 代表）

1973年東京都生まれ。学生時代より当事者サークルを立ち上げるなどさまざまな活動を展開。2012年より任意団体 Rainbow Soup（レインボースープ）を発足し、2015年3月にNPO法人化。同年7月、アメリカ国務省主催のLGBTプログラム研修生に選抜。同年10月より、特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ・スタッフを兼務。2016年4月、熊本地震を受け任意団体ドント・ウォーリーと「Pray for RAINBOW」プロジェクトを立ち上げ、支援金集めや現地支援を展開した。

及川政伸（ろう LGBT 東北（DLT）代表）

2014年4月4日にろう LGBT 東北が設立され、東北地方に住む聴覚障害（ろう者・難聴者・中途失聴者）を持つLGBT当事者、手話通訳活動等に携わっているLGBT当事者、そしてアライたちが中心となって活動している。2017年4月より代表就任。岩手県在住。

浜口ゆかり（NPO 法人高知ヘルプデスク 代表）

NPO 法人「高知ヘルプデスク」代表。2006年から前身となる任意団体を立ち上げ、性的マイノリティへの支援を行ってきた。2014～15年度には、独立行政法人福祉医療機構の助成により、同性間DVのシェルター運営や自己尊重感回復支援プログラム等の事業を実施し、県への移住・就労支援等を開拓した。2016年には岩手レインボー・ネットワークと共に「にじいろ防災ガイド」を制作、南海地震への備えを検討している。任意団体「ソーシャルアライ・コナツハット」顧問。

前川直哉（ふくしま学びのネットワーク理事／ダイバーシティふくしま共同代表）

1977年兵庫県生まれ。高校3年時に阪神・淡路大震災で被災。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程単位取得退学。灘中・高教諭を経て、2014年より福島市に転居。現在、（一社）ふくしま学びのネットワーク理事・事務局長、および東京大学大学院特任研究員、会津大学非常勤講師。2015年より市民団体・ダイバーシティふくしまを立ち上げ、共同代表を務める。

参加申込み（FAXでのお申し込みは下記にご記入の上、お送りください）

お名前（通称・仮名 可）： _____ 同行者 _____ 人

緊急時の連絡先： 電話： _____ E-MAIL： _____ 連絡不要

E-mail： miyagi-esto@estonet.info

TEL： 080-6049-8843（非通知不可） FAX： 050-1450-6768（非通知不可）

※資料準備のため、お名前（仮名でも大丈夫です）と同行者の人数をお知らせください。

※申込み無しでも参加可能ですが、定員に達した場合は受付を締め切らせていただくことがあります。